



新潟県小中学校教頭会
会長 田中 修二

第52回新潟県小中学校教頭会研究大会、第10回ブロック別研究大会の開催にあたり、新潟県小中学校教頭会を代表いたしまして、御挨拶を申し上げます。

はじめに、本研究大会を開催するにあたり、新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、新潟県小学校長会、新潟県中学校長会、新潟市小学校長会、新潟市中学校長会をはじめ、関係諸機関・諸団体から御後援・御支援をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。また、公務御多用にもかかわらず、本研究大会に御臨席を賜りました御来賓の皆様方、分科会におきまして御指導をいただきます指導者の皆様方に厚く御礼を申し上げます。さらに、本研究大会の会場を御提供いただきました関係御当局・施設関係者の皆様方に感謝申し上げます。

本研究大会は、全国公立学校教頭会第十期全国統一研究主題「豊かな人間性と創造性を育む学校教育（キーワード 生き抜く力・絆づくり）」の下に、本県独自のサブテーマ「生涯にわたって能動的に学び続ける子どもを育む学校づくり」の達成に向けて研究を継続し3年目、最終年にあたります。これまでの研究成果と研究の3つの柱「研究の継続性」「組織研究としての協働性」「学校運営における教頭の関与性」に焦点をあて、会員の参加意識をさらに高め、視点を明確にして話し合いを深めます。特に分科会では発表者の発表内容を十分に理解し、成果と課題を共有しながら、教頭としての資質・指導力の向上に寄与することを期待しています。

さて、様々な教育改革が進む昨今、平成28年5月には、文部科学大臣から「教育の強靱（じん）化に向けて」についてのメッセージが出されました。この中で、AI（人工知能）の進化など情報化が進み、グローバル化が急激に進展する時代の中で、たくましく、しなやかに生きていく人材を育てるためには、学校教育を一層進化させていくことが重要と述べられています。さらに「学習指導要領改訂」と「次世代の学校・地域創生の実現」の一体的な推進が掲げられ、特に「次世代の学校・地域創生の実現」では、「学校の指導体制の充実」「教員の質の向上」「チーム学校の実現」、そして「地域とともにある学校」への転換が重点事項となっています。これは、児童生徒も地域住民も含め地域全体で学び合い、誰もが活躍できる場や安心して子育てできる環境を整備することにより次世代の地域創生の基盤とすることを示しています。

私たち教頭は、校長の学校経営方針に従い、組織的に連動する体制づくりと教職員の育成を進めてきました。今後はさらに、「次世代の学校」「地域創生」に取り組むことが求められます。その実現のためには、学校の教育課題を的確に把握し、改善点を明確にし、未来へのビジョンを示しながら、常に「一步前に」出て行動し、職員をリードしていく気概をもたねばなりません。教頭会は、常に会員相互の連携を図り、協力し、関係者の期待以上の成果が得られるように、その職責を果たしていきましょう。

最後になりましたが、本研究大会を開催するにあたり、真摯に研究を進めその成果をまとめて発表していただきます各郡市教頭会の代表の提案者・共同研究者・支援者の皆様、そして、本研究大会が一層充実した研究大会になるように工夫を凝らしながら開催の準備を進めてくださいました、主管教頭会の実行委員会の皆様に対し、心から深く敬意を表するとともに感謝を申し上げ、御挨拶といたします。